

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年 第 4 学年 第 5 学年 第 6 学年	書 写 135 書 写 235 書 写 335 書 写 435 書 写 535 書 写 635	しよしゃ 一ねん しよしゃ 二年 書 写 三年 書 写 四年 書 写 五年 書 写 六年
取 扱 内 容  〔 各教科、各学年の目標、内容等 〕	<p>硬筆について</p> <p>第 1, 2 学年では、画の形と方向に気を付けて文字をなぞったり、画の付き方や交わり方を考えたりする活動を通して、文字を正しく書く、第 3, 4 学年では、漢字が偏になった時の形の違いを考えたり、筆順に気を付けて書いたりする活動を通して、文字の形を整えて書く、第 5, 6 学年では、便せんやポスター用紙など様々な用紙に合わせて書く活動を通して、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書く活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>毛筆について</p> <p>第 3, 4 学年では、1~2 字の漢字や平仮名の題材で、点画の形とその形を作る筆の動きに注意しながら書く活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く、第 5, 6 学年では、漢字仮名交じりの文言の題材で、小筆や筆ペンなどを使用して点画相互、文字のつながりを意識して書く活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>硬筆と毛筆の関連について</p> <p>第 3, 4 学年では、点画の筆使いや文字の配列についての理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける、第 5, 6 学年では、穂先の動きや点画のつながり、文字の大きさや配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付けるなど、硬筆と毛筆の関連を図った教材を 33 扱い、目標を達成できるようになっている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応について</p> <p>第 1, 2 学年では、「しりょう」において、あさがおの観察カードなど、横書きの文章を書いたり、友達に手紙を書いたりするなど、第 3, 4 学年では、「しりょう」において、書く位置や文字の大きさに気を付けてはがきを書いたり、新聞を読みやすく書く工夫を確かめたりするなど、第 5, 6 学年では、「資料」において、文字の大きさや配列などに気を付けて新聞などを書いたり、ノートの書き方やメモの取り方を確かめ文章を書いたりするなど、日常生活との関連を図った教材を 20 扱い、基礎的、基本的な知識、技能の習得を図る活動を取り上げている。</p>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<p>内容の構成・排列について</p> <p>第 1 学年では、平仮名について「曲がり、折れ」など、点画や文字の形の学習の後に、片仮名や漢字の学習を取り扱い、第 2 学年では、漢字について筆順、点画の方向、点画の接し方や交わり方の学習をした後に、文章表記を取り扱い、第 3 学年では、毛筆について 1 字の漢字の点画や穂先の向き、筆圧との関係の学習の後に、2 字の平仮名の筆使いや漢字の中心について取り扱い、第 4 学年では、毛筆について漢字の筆順と画の付き方や、部分の組立て方の学習の後に、平仮名の筆使いや 2 字の漢字の大きさについて取り扱い、第 5 学年では、穂先の動きを意識しながら、点画のつながりや文字の組立て方の学習の後に、行の中心や文字の大きさ、配列について取り扱い、第 6 学年では、穂先の動きと点画のつながりや、字形と筆順の関係の学習の後に、用紙に合った文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>内容の分量について</p> <p>第 1 学年～ 硬筆は 36 ページであり、総ページ数は 39 ページである。  第 2 学年～ 硬筆は 31 ページであり、総ページ数は 37 ページである。  第 3 学年～ 硬筆は 5 ページ、毛筆は 42 ページであり、総ページ数は 55 ページである。  第 4 学年～ 硬筆は 7 ページ、毛筆は 34 ページであり、総ページ数は 49 ページである。  第 5 学年～ 硬筆は 13 ページ、毛筆は 26 ページであり、総ページ数は 47 ページである。  第 6 学年～ 硬筆は 6 ページ、毛筆は 27 ページであり、総ページ数は 49 ページである。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>児童の課題解決のヒントを与えるキャラクターが登場したり(全学年)手紙の書き方(第 3 学年)「枕草子」(第 5 学年)などの国語の教科用図書との関連を図った教材を 16 取り扱っており、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>学年のまとめとして児童が課題を選択して学習する教材を設定したり(第 3~6 学年)教材ごとに自己評価欄を設けたり(全学年)するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>巻頭に学習内容を示した「学習の進め方」(第 4~6 学年)や、巻末に書写に関連したコラム的な記事(第 2~6 学年)を掲載したり、色使いや紙面構成を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	北海道と関連を図った教材は、「さっぽろ雪まつりの情報を伝えるパンフレット」が、1 箇所取り上げられている。			